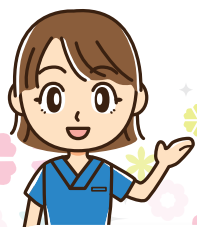




セル看護提供方式®へ変更しました！

- 令和7年9月よりセル看護提供方式®へ変更しました！
- 一 がん相談支援センターのご案内 一
- 政府訓練(北海道開催)の大規模地震時
医療活動訓練に参加しました。
- シリーズ第35回 コメディカルワンポイントアドバイス ～栄養管理室～
忘年会シーズンのお酒と上手に付き合うコツ



令和7年9月より セル看護提供方式®へ変更しました！



ブロックカンファレンス



ベッドサイドでの様子

看護は、患者さんとそのご家族を「身体・心・社会」の面から支え、持てる力を引き出す役割を持っています。私たちは、患者さんにご家族の価値観や人生観を大切に、その想いに寄り添いながら、患者さんにご家族の、自らの力を発揮して回復に向かっていけるよう看護の提供を目指しています。

そこで、もっと患者さんのそばで、患者さんの声が聞こえる場所で看護を実践したいという思いから、看護方式をセル看護提供方式に変更しました。

セル看護提供方式は、「いつでも患者さんのそばにいる」を実現するため、看護記録をナースステーションではなくベッドサイドで行います。また、患者さんへ最適な看護を提供するため、毎日ブロック単位（一人の看護師が担当する範囲）でカンファレンス（病室前でカンファレンス）を行い、看護ケアを検討し看護を提供していきます。看護師はいつでも患者さん・ご家族のそばにいますので、どうぞお気軽にお声かけ下さい。

（看護部長金森智江）



金森看護部長



看護師会より
カップケーキ進呈！

セル看護導入を祝して各病棟へケーキ進呈

看護師会会長 比嘉師長



6東病棟



6西病棟



5東病棟



南5病棟



周産期病棟



5西病棟



南3病棟



南4病棟



4東病棟



4西病棟

— がん相談支援センターのご案内 —

がんと診断されたとき、誰もが不安や戸惑いを感じるものです。治療のこと、生活のこと、仕事や家族のこと…。そんな時、ひとりで悩まず、ぜひ「がん相談支援センター」をご利用ください。

がん相談支援センターは全国のがん診療連携拠点病院等に設置されており、県内では当院のほか、琉球大学病院、那覇市立病院、北部地区医師会病院、県立宮古病院、県立八重山病院にあります。

当センターは、がん患者さんとそのご家族が安心して療養生活を送れるよう、さまざまな支援を行っています。主な業務は、「情報支援」と「相談支援」で、具体的な内容は以下の通りです。

●治療や療養に関する相談対応

「医師の説明がよくわからなかった」、「治療の選択に迷っている」など、医療に関する不安や疑問に寄り添いながらお応えします。また、パンフレットや冊子、信頼のおける情報サイトなど、がんに関する一般的な情報提供もおこなっています。

また、セカンドオピニオンの利用方法についてのアドバイスもできます。

●医療費や生活支援制度の案内

高額療養費制度や障がい者手帳、介護保険など、経済的・社会的な制度について情報を提供しています。

治療を受けることを迷ってがん相談支援センターに来られ、制度の説明を受けて安心して治療に臨んだ方も多くいらっしゃいます。

●就労支援・職場復帰の相談

仕事を続けたい、復職のタイミングが不安、仕事を探したいなど、就労に関する悩みに対して、必要に応じてハローワークや産業保健総合支援センター等の職員と連携しながら、ご本人の希望する仕事（事業者）と医療機関を結び、「働きたい」を支援します。

●地域の医療機関・支援団体との連携

退院後の生活や在宅療養に向けて、地域の医療・福祉サービスとの橋渡しを行います。

「できる限り自分らしく生きたい」「最後は自宅で過ごしたい」などの希望に沿えるように支援します。

●患者会やサロンの紹介

上記のような個別の相談のほか、同じ経験を持つ方々との交流の場をご案内し、孤立感の軽減や情報交換の機会を提供します。

当院では、毎月第4木曜日午後15時に患者会「ゆんたく会」を開催しています。どうぞ気軽にお越しください。詳細は当院がん相談支援センターのホームページをご覧ください。

●緩和ケアについて

患者様が日常生活や、治療に前向きに取り組めるようがん治療と並行して行う、身体的・精神的な痛みを和らげるケアのことを緩和ケアといいます。

当院には緩和ケアをサポートするチームがあります。痛みやつらさを、病気だから仕方ないとあきらめずに、まずはご相談ください。がん以外の疾患の方でも結構です。

※当院かかりつけ以外の患者さんやご家族もご利用になれます。

※相談は無料で、予約なしでどなたでもご利用いただけます。来所、電話、オンラインで承っております。

※プライバシーは厳重に保護されますので、安心してご利用ください。



参考：厚生労働省
「治療と仕事の両立支援ナビ」↓



がん相談支援センターのページ↓



中部病院 がん相談支援センター

平日 9:00~17:00 本館 2階 62番

連絡先 098-973-4111 (代表) (内線3232) 098-973-4312(直通)



政府訓練(北海道開催)の大規模地震時 医療活動訓練に参加しました。

当院は沖縄県の基幹災害拠点病院に指定されており、大規模災害など多数傷病者が発生した際に現場へ迅速に駆けつけ、救急治療を行うために専門的な研修・訓練を受けたDMAT (Disaster Medical Assistance Team:災害派遣医療チーム)を有しています。

現在医師8名 看護師7名 業務調整員2名 計17名が当院のDMAT隊員として登録され、災害に備えての活動を行っています。

これまで実際に2011年東日本大震災、2016年熊本地震へ当院のDMAT隊員を派遣し現場での医療活動を行ってきました。

隊員が実際の災害時に迅速に活動できるよう、定期的に訓練が行われており、今回令和7年度の政府訓練に参加してきました。



9月5日11:00千島海溝周辺海溝型地震の発災を想定し、9/5沖縄から北海道へ向け出発。

統括DMAT医師木全が本部活動を行い、医師1名看護師2名業務調整員2名が病院支援に入りました。

北海道道南での訓練でしたが、地震による道路への影響や津波の被害など想定を付与され、参集場所から片道約2時間の車移動を経て病院支援を行いました。運ばれてくる傷病者の救護を主として活動しました。

限られた医療資源での診療や、治療後の搬送手段を検討したりと、実際の災害に則した訓練内容となっており、今後県内で災害が起きた際にも、今回の経験を生かせる訓練となりました。



シリーズ 第35回 コメディカルワンポイントアドバイス ～栄養管理室～

忘年会シーズンのお酒と上手に付き合うコツ

飲み方のポイント

①空腹で飲まない!

空腹だと酔いやすく、胃に負担がかかります。枝豆や冷奴など、軽なおつまみと一緒に。



②お酒の種類に注意!

ビール・日本酒・梅酒などは糖分が多く、飲みすぎると血糖値上昇の原因に。

また、糖分の少ないお酒(焼酎やウイスキー)でも飲みすぎるとカロリー過多や肝臓への負担になります。どんなお酒でも“ほどほどに”

③水分補給忘れずに!

アルコールは利尿作用があり脱水を引き起こす可能性があります。

「1杯飲んだら、1杯お水」を意識しましょう。

④飲みすぎ注意!1日の目安量

栄養管理室 金城

純アルコール量約20g程度

ビール、チューハイ(5%)	500ml(中瓶・ロング缶1本)
度数の高いチューハイ(9%)	280ml
ワイン(12~14%)	200ml(ワイングラス1.5杯)
日本酒(15%)	160ml(1合弱)
泡盛(30%)	80ml(半合弱)
焼酎・泡盛(35%)	70ml(約1/3合)
ウイスキー・テキーラ(40%~)	60ml(シングル2杯)

お酒は「楽しく・ほどほどに」
体調を整えて元気に新年を迎えましょう!

参考:公益財団法人 長寿科学振興財団(<https://www.tyojyu.or.jp>)

沖縄県立中部病院

検索

〒904-2293 沖縄県うるま市宮里281 TEL: 098-973-4111 (代)

FAX: [代表] 098-973-2703 [地域連携室] 098-982-6568 ホームページ <https://chubuweb.hosp.pref.okinawa.jp/>

